

## 豚流行性下痢 (PED) の侵入防止対策の徹底

○PED の発生に注意が必要な季節になりました。

PED は、年々発生件数が減少していますが（※表参照）、例年、気温の低下する10月以降に本病の発生が増加していることから、PED の侵入リスクが、今後高まると考えられます。また、他県において、消毒等の不徹底に起因する再発事例も見られたことから、養豚農家、関係者の皆様方におかれましては、引き続き飼養衛生管理基準の遵守と適正なワクチン接種の励行及び異常豚を発見した場合の早期通報をお願いします。

(表)豚流行性下痢 (PED) のシーズン毎発生数 (H29. 8. 15 現在)

期間	発生県	発生戸数	発症頭数	死亡頭数
H25. 10～H26. 8	38 道県	817 戸	1,289,933 頭	419,862 頭
H26. 9～H27. 8	28 都道県	233 戸	305,821 頭	79,335 頭
H27. 9～H28. 8	16 道県	107 戸	128,699 頭	26,113 頭
H28. 9～H29. 8	15 県	75 戸	44,121 頭	6,990 頭

(出典：農林水産省 HP)

### ○PED 侵入防止対策

- ✓ 動力噴霧器等による車両のタイヤや車体全体の洗浄・消毒の徹底
- ✓ 車両消毒の際、足下マットやハンドル等運転席周りの消毒の実施
- ✓ 農場出入り者の衛生対策と消毒状況の確認の励行
- ✓ 農場内での専用の作業着と専用の作業靴の使用
- ✓ 定期的な場内消毒、給餌給水設備への野生動物の排せつ物混入防止
- ✓ 適切なワクチン接種（妊娠豚に2回接種等の用法・用量の厳守）

本病のまん延防止及び損耗防止のためには早期発見が重要です。異常豚が見られた場合には、直ちに家畜保健衛生所まで御連絡ください。

神奈川県県央家畜保健衛生所

本 所 〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

東部出張所 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076

電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432

